



和泉市 消防団だより

第4号発行

■和泉市消防団本部■
和泉市一条院140-2
(代)0725-41-0119
(直)0725-41-6287

平成29年度全国統一防火標語

火の用心 ことばを形に 習慣に

消防団長就任挨拶

団長 山本成男



この度、消防団長の再任の推薦を頂き、四月一日付で就任致しました。

大変、光栄に存じますと共にこの重責をかみしめながら三百五十五名の団員をはじめ関係者のご期待に背かぬ様今日までの経験の礎として皆様方のご協力を頂きながら地域防災の中枢としての和泉市消防団の更なる発展と活性化の為に、全力を尽くしてまいります。

皆様どうかよろしく
お願い申し上げます。



消防団副団長就任挨拶

副団長 鈴木寅蔵



平成二十九年三月末まで地元第五分団長を務めさせて頂き、四月一日付で和泉市消防団、副団長を拝命致しました。

伝統ある和泉市消防団・副団長の重責を拝命し身の引き締まる思いです。

これからも和泉市の安全安心な街づくりのために山本団長の元、消防団活動に従事していきたいと思えます。



消防出初式

平成二十九年一月七日(土)

和泉市消防出初式が多くの来賓の方々や、市民の皆様にご来場を頂き、初めて黒鳥山公園で開催されました。

本市出初式は、昨年まで市民球場と隣接の榎尾川河川敷を利用して開催していましたが、和泉市立病院の新設工事の為、場所を変更しての開催となりました。

当日は、晴天無風という絶好の天候に恵まれ、消防団員と消防職員との合同訓練など新しいプログラムの披露もある中で滞りなく終了致しました。

そして「今年一年の安全と安心」を祈願する恒例の一斉放水では、澄み切った青空をバックに素晴らしい虹の架け橋が見られ、会場からどよめきが起りました。

この虹が、今年一年の安全と安心の象徴であって欲しいと願った次第でございます。

新年の消防出初式は左記の日程で開催致します。
多数のご来賓・市民の皆様のご来場をお待ちしております。

平成三十年出初式

開催場所 黒鳥山公園

開催日 一月六日「土曜日」



幼年消防クラブ員「防火の誓い」



消防車両展示



消防団と消防本部による合同訓練披露

防災訓練

平成二十八年十一月六日に和泉市が主催する防災訓練が信太中学校で開催されました。



総勢一千二百人が参加して、上町断層帯地震による大規模地震が発生したことを想定し、安否確認避難誘導・避難所設営・非常炊き出しの訓練が行われました。

住民体験型訓練として、初期消火・応急担架作成及び搬送・応急救護・煙体験・家具固定の訓練が消防団員の指導により行われ、最後に警察・陸上自衛隊・消防の防災機関の連携による災害想定訓練が披露されました。

会場には特殊車両の展示・起震車・緊急貯水槽・炊き出し用の試食等のコーナーも設置されました。又、同日に各校区においても、地域防災訓練が実施されました。



煙体験



初期消火訓練



炊き出し訓練



応急担架作成・搬送

応急担架作成・搬送訓練

防火パレード



三月一日から実施された春季全国火災予防運動に合わせ和泉府中駅前で、明德幼稚園の幼年消防クラブ員による防火パレードが開催されました。

災害時のキーワード「おかしも」を元よく発表しました。

「お」おさない

「か」かけない

「し」しゃべらない

「も」もどらない

市民の皆様には防災についての重要性を訴え我々も再認識する防火パレードでありました。



幸校区少年消防クラブ

本クラブは、子どものころから防火・防災及び救急に関する知識・技術の勉強をしながら防火・防災に強い人づくりに努めるとともに、地域における連帯感の重要性と明朗闊達な風を養い、子どもたちの教育に寄与することを目的としています。

主な活動は、消防署での防災学習・年末の幸校区内の夜警・消防出初式への参加等があります。



特に防災学習では、放水体験や煙中体験、また心肺蘇生法の学習を行い防災に関する知識や技術を高めています。

支部総合訓練



平成二十九年八月二十日、泉大津市汐見公園多目的広場において、多数の来賓のご来場のもと、盛大に行われました。

泉北地区支部は、和泉市、忠岡町、堺市、高石市、泉大津市の五団で構成されております。

当日は、総勢二百五十名の消防団員の入場行進から始まり、人員機械の報告、九月に行われる大阪府消防操法大会に出場するチーム(小型ポンプ操法の部・堺忠岡町、ポンプ車操法の部・堺市美原)による操法訓練披露、一斉放水、優良消防団員表彰式、操法訓練激励会など、残暑厳しい中訓練が行われました。

和泉市消防団からは百数名が参加し、参加五団の中で最も多くの団員が訓練に参加しました。



山林火災にぞなえて!

十二月三日、青少年の家榎尾山グリーンランドで、山林火災を想定し山林火災訓練を行います。

当日は、第三・四・五分団が参加し、中継送水訓練や基本操作等を再確認しながら充実した内容の訓練を実施します。



五分団が参加し、中継送水訓練や基本操作等を再確認しながら充実した内容の訓練を実施します。

消防団



行事予定

地域の安全・安心のために行事や研修を行っています。



ロマンちゃん



コダイム

消防団



行事予定



消防団

- 10月22日 初級指導課程
- 10月29日 現場指揮課程
- 11月19日
- 11月5日 和泉市防災訓練・和泉市消防団ブロック別防災訓練
- 11月12日 消防団員特別訓練
- 12月3日 山林火災訓練
- 12月28日 年末夜警
- 12月29日 年末夜警
- 12月30日 年末夜警
- 平成30年
- 1月6日 和泉市消防出初式
- 1月21日 分団指揮課程
- 2月中旬 交通安全講習会
- 3月下旬 大阪府・和泉市消防表彰式
- 4月1日 消防団員入団式
- 4月7日 初任団員研修会
- 5月28日 基礎教育(A)
- 6月11日 消防団員健康診断
- 6月17日 夜間風水害訓練
- 6月25日 基礎教育(B)
- 8月20日 消防技能向上事業「機関員訓練」
- 9月3日 泉北地区支部総合訓練

大阪府消防操法大会

新分団長紹介

第一分団分団長 藤田正彦



市民の多い国府・和気・若部・黒鳥・伯太校区を管轄し有事の際は第八・九分団との協力体制により出動します。

消防団員の必要性をアピールし地域の皆様と協力して「我が町を守る」の精神を持って防災活動をしてまいります。
宜しくご理解のほど、お願いします。

第二分団分団長 久保義人



分団長となり、先ず痛感している事は分団の長として責任の重さと出動要請があれば直ちに急行し対応しなければならぬという緊張感であります。

未だ数か月、戸惑う事も多々ありますが、定例会議などを通じて他分団の方々や担当の職員の方々にアドバイスを頂きながら三役並びに団員の皆様の協力のもと頑張ります。

第五分団分団長 東 義明



消火活動はもとより人命救助、捜索及び河川氾濫時の出動等多種に渡り出動機会の有る分団ですので団員相互間の連帯が取れるよう積極的に訓練、行事に参加するように指導したいと思います。

町会及び各種団体と連携をとって、地域の皆様の防災意識向上に努め、地域の安心・安全を団員一丸となつて守るよう努めます。

消防団員紹介

第一分団

副分団長 塩野 和雄

ある日、祭りの世話人の先輩に消防団の欠員が出たので入団してみないかとお誘いを受けました。既に四十五歳なので、この年でも出来るか不安もありました。

この先輩に相談したところ「本職さんの補佐的な仕事だし、歳は食っていても其れなりに出来ることをすれば良い」と言われ入団しました。入団当時は、火災出動が多く、素早く着替えてポンプ車に乗る事だけに集中していました。

現場到着後どうしたらよいのやら先輩方に怒鳴られっぱなしでしたが召集サイレンが鳴ると、胸がバクバク破裂しそうな勢いでした。

その先輩から最初に教わったことは「現場では慌てず瞬時に対応できる判断力と行動力を」「強い心でこゝろに望め」と教わり、この二つが心に残っています。

さて、後二年で退団です。先輩達にこの言葉を伝えただけこの言葉を残しているのか？

第二分団

内田班 団員 関戸 繁樹

「地元で信頼される消防団」であり続けるため、活動しています。

団員はそれぞれが生業を持つ中、非常時に消火活動を冷静・的確に行えるように週一度の車両・資機材の点検と月に一度の放水訓練を実施しています。

また、これ以外にも、災害時安否確認など、我々に求められる任務の多様化に備え、地域住民とのコミュニケーションや情報収集に努めています。

第三分団

春木班 団員 岡本 篤支

今年度より消防団に入団する機会を頂きました。入団してまだ日も浅く、まだまだ不慣れですが、基礎教育等からいろいろな技術を先輩方からも学び習得し、情報を集め、信頼ある消防団員を目指したいと考えております。

また、毎月の放水訓練や器具管理等でスキルを身につけ実際の火災現場で活躍出来るように頑張りたいと思いますので皆様のご指導を宜しくお願いします。

第四分団

父鬼班 班長 松葉 博

他の分団に比べて現場出動の少ない分団です。

担当範囲の大半は山林が占めており、山林火災や土砂崩れ等規模の大きな災害が考えられます。

火災現場出動をした経験がない団員もいるなか、また仕事の都合で誰が出動出来るかわからない事を考慮して、日頃の訓練は勿論の事話し合い等で意識を高めるように活動しております。

第五分団

下宮班 班長 松井 靖典

我々の分団は、山間地域にあるので建物火災だけでなく山林火災や横尾山での遭難救助の際にも出動する事があります。

毎週第一日曜に第五分団全員での放水訓練を実施し、機械器具の点検や他の班との連帯を強化して、実際の出動時に備えて活動しています。入団当時は、何も分からず覚える

事ばかりで大変でしたが、先輩団員さんの懇切丁寧な指導、そして現場への出動経験が自分の消防団員としての成長に繋がっていると、入団して築けた人との繋がりを大切にし地域の安全を守る心構えで今後も消防団活動に取り組みたいと思います。

第六分団

黒石班 班長 辻野 悦次

平成27年度9月の第59回大阪府ボンプ操法大会では、4ヶ月間の厳しい訓練に耐え、準優勝という成果を得たことは、かけがえのない経験となりました。

危惧される南海トラフ巨大地震では、このように、消防団は地域に密着し、地域防災のリーダーとしての即応が期待され、地域の中核として防災活動を行う必要があると考えられています。地域自主防災会などと一体となり、地域防災を担えるよう、訓練に励みたいと思います。

第七分団

室堂班 団員 紀ノ定 一臣

日頃、消防団活動にご協力、ご支援頂き有難う御座います。さて、私たち室堂班の活動についてお話いたします。

北池田校区、いぶき野校区を担当し火災及び災害に備え毎月第二土曜日に巡回パトロール及び器具点検、第四日曜日に放水訓練、機関訓練を行っております。

また、年一回の地域防災訓練と年末夜警などの活動を行っています。これらの活動を通じて昨今地震や水害が多い中、消防団としての地域の安全・安心を確保するために、各個人の仕事もありながら地道に活動してまいります。

第八分団

班長 荒川 貴士

私の入団のきっかけは、お世話になってたおじさんが消防団員という事と、その方から入団を頼まれ断りきれなかったというのが本音です。しかし、入団して直ぐに先輩方が優しく真剣に消防団活動のひとつひとつを丁寧に教えていただく事によって、消防団に入って良かったと思っています。

消防団とは火災の消火方法だけを知れば良いと思っていましたが、心肺蘇生方法やAEDの使い方など定期的な訓練を行い、普段の生活で『もしも』の事が有れば少しでも役に立つことが出来ると思っております。消防団活動を行う事によって今までは以上に地元へ愛着が生まれ、これからは大切にしていかなければならないという気持ちも強くなり、今まで以上に地域での自主防災の必要性を強く感じるようになりました。これからも地元のために消防団活動を行っていこうと思います。

第九分団

班長 萩野 竜一

我々の管轄区域は、信太・鶴山台南・鶴山台北小学校校区と住宅の多い地域です。その為万が一の火災に備え消火栓、水利の確認点検に努めております。

今後の課題として、住宅の単身高齢世帯の増加があげられます。大災害の際、各自治会と連携し高齢世帯の把握、避難経路の確保が重要と考えられます。

私が消防団に入団して十年以上の月日が経ちました。その間全国で沢山の規模災害がありました。その度に地域防災の大切さを痛感しました。これからも団員一丸となつて日々精進してまいります。

